

1人1台端末の活用による実践事例 (小・中学校用)

| | | | |
|--------|---|------------------|--------------|
| 学校名 | 矢掛町立小田小学校 | 実践者名 | 向井 健人 |
| 教科 | 算数科 | 学年 | 第6学年 |
| 活用内容 | 自分の考えをもつ 意見交流 | 実践日 | 令和3年10月7日(木) |
| | | 授業活用段階 (岡山県版) | Stage 2 |
| 単元・内容等 | 「角柱と円柱の体積」 直方体を組み合わせた図形を角柱とみて体積の求め方を考え説明する。タブレットを使って一人一人が底面をどこと捉えて考えているかを書き込む。 | | |

活用の概要 (目的・活用場面・使用アプリ名を含む)

【授業の事前準備】

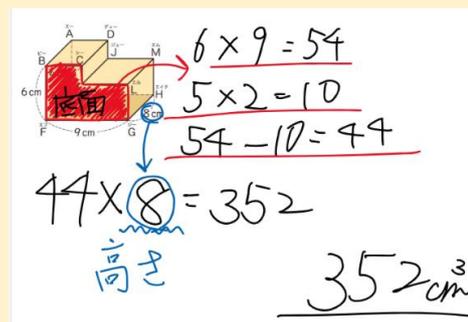
- ・スクールタクト*を活用し、本時で扱う角柱の画像をワークシートに添付し、書き込めるように準備をした。



【本時】

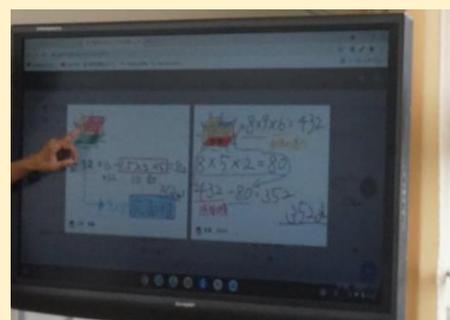
(1) 自分の考えをもつ。

- ・ワークシートに「どこが底面か。」「図形のどの部分の面積を求めている式か。」など、式とともに矢印やコメントなどを書き込みをさせることで、分かりやすく友達に説明ができるようにする。
- ・考えがもちにくい児童には、自分のワークシートだけでなく、友達ワークシートも閲覧することができる機能を活用し、考えがもちにくい児童の参考となるようにする。



(2) 考えを共有し、話し合う。

- ・複数の児童のワークシートを大型提示装置の画面に提示することで、互いの考えの共通点や相違点を比べることができるようにする。



(3) 振り返りを行う。

実践者の手ごたえ

スクールタクトを活用すると、ワークシートに簡単に書き込みや修正を行うことができ、個々の考えを分かりやすく表示することができる。考えを共有する場面では、それぞれのワークシートを画面に提示し比較することで、視覚的にも分かりやすく活発な話し合いにつながった。

児童生徒・保護者等の主な反応や声

(児童の感想から)
「最初は自分の考えがもてなかったけど、友達のをヒントにすることで、答えを出すことができた。」「ワークシートがデジタルだと、間違えてもすぐ書き直しができるし、みんなに分かりやすく説明することができて便利だ。」

*スクールタクト…ブラウザ上で操作できる授業支援システム。教材配布や回収、画面提示等が可能